

会議録

会議の名称	西東京市総合計画策定審議会第2回会議		
開催日時	平成19年8月17日 午後2時30分から午後4時40分まで		
開催場所	西東京市役所田無庁舎3階庁議室		
出席者	齋藤隆雄会長、奥野英子副会長、熊田博喜委員、小林康男委員、高崎三成委員、浜昱子委員、福田和明委員、渡辺進委員 (事務局)尾崎正男企画部長、飯島享企画政策課長、古厩忠嗣企画政策課課長補佐、森谷修企画政策課主査、増岡利典企画政策課主任		
議題	1. 開会 2. 西東京市総合計画策定審議会第1回会議録について 3. 計画策定に向けた基礎調査について		
会議資料の名称	(1) 策定作業及び検討領域イメージ (2) 基礎データ分析 (3) 企業・団体等ヒアリング (4) 市民意識調査 (5) 前期基本計画の点検調査		
記録方法	全文記録	発言者の発言内容ごとの要点記録	会議内容の要点記録
会議内容			
<p>発言者名：</p> <p>発言内容</p> <p>1. 開会</p> <p>2. 第1回会議録について</p> <p>齋藤会長 西東京市総合計画策定審議会第1回会議録について事務局よりご説明いただきたい。 事務局 第1回議事録をお持ち帰りいただき、24日までに修正等についてご連絡いただきたい。その上で、公表の手続きに入ります。 齋藤会長 修正等があれば、24日までに事務局へ連絡し、修正を経て委員の承認があったものと扱います。</p> <p>3. 計画策定に向けた基礎調査について</p> <p>資料1、2について</p>			

齋藤会長

資料1および2について、質問等がありますか。

A委員

資料2ページで示してある基本施策・施策・事業等は現在の総合計画に示してあるもので
すか。この内容について市民等のニーズを踏まえて修正するということになるのですか。
また新しい施策の追加ということもあるということですか。

事務局

どこまで行うかについては今後決めていくことになりませんが、その方針で考えていま
す。新しい施策の追加については、審議会での検討次第ということになります。

B委員

人口推計を行う手順について、具体的に説明をお願いします。

事務局

平成13年度に人口推計を行った後、大規模な工場等の撤退があり、跡地に大規模集合住
宅が作られたため、当時の推計を超える人口となっています。そのため、新規に人口推計
を行うにあたっては、既に把握している大規模開発等の特殊要因を把握した上で推計すべ
きであると考えています。

C委員

居住人口以外に、就業者、来訪者の把握についてはどのように行うことになりますか。

事務局

観光もしくは交通等の施策と関連する分野であり、施策の検討時に併せて行う予定で
す。

資料3について

D委員

7ページの団体ヒアリング候補の抽出案を明確にしておくとのよいのではないかと
思います。

事務局

市民協働、各課の紹介等を踏まえ主たる活動団体と考えて抽出したものです。

E委員

一定の選定基準を示さないと、選ばれなかった団体から何らかの意見が出る可能性があ
るのではないかと思います。

事務局

選定に当たっては、選定基準を明確にいたします。

D委員

東大農場は移転しないことが決定されたと新聞で報道されたようだ。積極的に関わって
もらうためにも、対象に検討していただきたい。

D委員

文化的な活動を行っている団体を加えることはできますか。

事務局

数が非常に多くそれぞれの活動の規模も大きいので、全体を統括するような組織があれば
検討に値するかと思います。

B委員

大きなイベントの実行委員会を担った団体などが良いのではないのでしょうか。

F委員

場所の問題もあると思いますが、審議会委員がオブザーバーで傍聴することはできま
すか。

齋藤会長

関心のある分野については傍聴したいと思うので、事務局に検討をお願いしたい。

D委員

分野のひとつとして「文化・芸術」があってもよいのではないかと。創造性とは別に作るべきではないでしょうか。

事務局

「創造性の育つまちづくり」は基本構想で示されている柱なので残したい。団体ヒアリングの中で可能かどうか検討します。

資料4について

F委員

市民意識調査はすでに締切りになっていますが、今後も意見は受け付けるのですか。

事務局

入力・集計に間に合うようであれば分析対象といたします。

資料5について

F委員

平成16年から平成20年までの現行の基本計画について検証を行うと考えてよいでしょうか。

事務局

これまでの取組を評価し、今後もやるべきもの、あるいは不要なものなど、庁内で評価・確認を行います。その結果を審議会にお示しし、審議会での議論を踏まえ、次の計画の施策を考えていきます。施策調査は庁内職員より意見出しし、市民ニーズについてはアンケートから把握したいと考えています。

斎藤会長

市としての大きな方向性などはこの調査では出てこないと思います、どのようにするのですか。

事務局

基本理念に関わるような大きな方向性については大きな修正は行いません。施策については変更も含め検討していくこととなります。

斎藤会長

審議会の役割としては、基本理念についての議論ではなく、施策体系までを中心に考えてよいのですか。

事務局

現行計画の基本理念は10年間の計画であるため、基本的にそれを継承し、その下の後期5年間の基本計画についてご議論していただきます。

F委員

各調査結果が第3回の審議会で提示されますが、その結果を踏まえ、基本理念にも関わる結果が出た場合は、検討すべきではないかと思えます。

斎藤会長

基本計画に関する検討が中心だが、基本構想も含め、次の10年も見据えた検討をしてもよいのですか。

事務局

諮問の検討事項ではありませんが、基本理念に関わる部分も次の計画策定に向けて残すためにも答申に含めていただくことは可能であると思えます。

その他

F委員

前回の名簿をいただきましたが、市民公募の経歴・肩書きなど記入してあるとよいと思います。

事務局

市民委員の方と調整した上で作成したいと思います。

F委員

高校生などが参画する場面はあるのでしょうか。

事務局

児童館など地域性が高い具体的な案件で中学生や高校生を交えた事例はありますが、総合計画など政策全般についてはこれまで行っていません。

斎藤会長

市民意識調査では、年代で抽出しているが、何か手法などはありますか。

事務局

前は子どもワークショップを開きました。

斎藤会長

この5年間で子ども意識が変わっている兆候などがあればやはり声を聞くべきだと思います。

事務局

変わっているのは事実だろうと思いますが、掴みにくい。各担当部署で課題を把握しているかどうか、どんな動きがあるのかを調べ、検討させていただきます。

F委員

高校生は将来の西東京のまちづくりを担ってもらう役割なので、高校生にも積極的に参加してもらえるとよい。

事務局

学生と市の連携ということであれば学校での参加もありえる。高校生についてどのような関わり方、調査手法があるかを考えてみたい。

斎藤会長

団体ヒアリングの中で間接的に拾い上げることはできますか。

事務局

庁内検討部会で、一度ヒアリングを行うなど、何かできることがあるか考えてみたい。

A委員

若い青少年の意見を吸い上げるのであれば、ヒアリングよりも意識調査の方が良いのではないかと思います。

その他

事務局

今回は11月16日（金曜）に開催いたします。時間等については追って連絡します。

<会議終了>